

# 《 放 牧 》

## 1. 放牧状況

近畿での放牧面積及び放牧頭数は年々増加し、15年度で、面積は10年度の1.6倍、頭数は2倍となっている。放牧に取り組む農家戸数は200戸を越え、10年度の3倍となった。

## 2. 放牧地面積

近畿の放牧地面積464haのうち、肉用牛の放牧地面積は407ha。その3割で転作田や耕作放棄地が活用され、野草地・林地を合わせると370haである。利用されている放牧地の約9割は野草地等の未利用地の積極的活用が図られている。

## 近畿管内における放牧状況

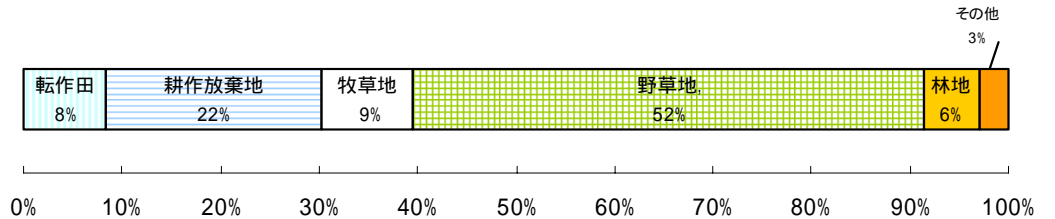
(単位: 戸、ha、頭)

区分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	15/10比
関係農家戸数	71	157	132	201	206	211	3.0
うち滋賀県	0	0	0	1	3	3	-
放牧地面積	292	393	446	467	436	464	1.6
うち滋賀県	0	0	0	4	20	29	-
放牧頭数	729	1,112	1,108	1,258	1,436	1,439	2.0
うち滋賀県	0	0	0	8	203	189	-

資料: 府県畜産課調べ

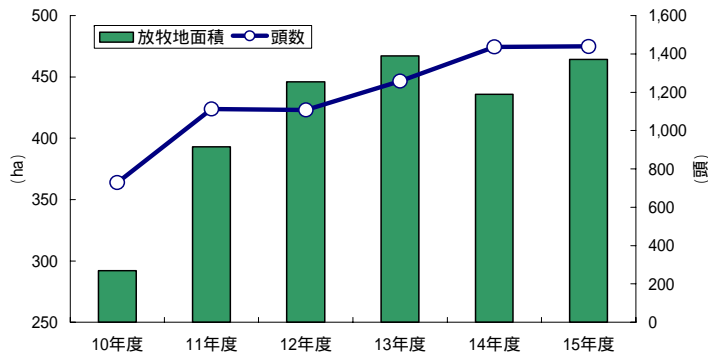
注: 調査対象は、公共牧場を除く。

## 近畿の放牧地面積(肉用牛)



資料: 平成15年放牧利用実態調査

放牧地面積・頭数の推移



## 耕地以外で採草地、放牧地として利用した土地

単位: ha

	総農家	耕作放棄地	平成15年放牧利用実態調査
滋賀県	177	1,012	29
京都府	405	1,420	16
大阪府	222	741	7
兵庫県	835	2,664	367
奈良県	210	2,066	0
和歌山県	173	1,899	45
近畿	2,022	9,802	464

資料: 2000農業センサス

注意: 「耕地以外で採草地、放牧地として利用した土地」とは、耕地以外に自家で保有している土地を調査期日前1年間に飼料用や肥料用に採草したり、放牧又はけい牧地として利用したものを。